

千葉 ライフ・ライン ニュースレター No.96

【発行】千葉県テレビ伝道協力会
〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2
CCCビル 「千葉ライフ・ライン係」
TEL 043-247-3058 FAX 043-247-3072
E-mail: chiba@life-line.tv
ホームページ <http://chiba.life-line.tv/>
郵便振替: 00110 - 8 - 579669

【協力】財団法人 太平洋放送協会(PBA)
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台
2-1 OCCビル
TEL 03-3295-4921 FAX 03-3233-2650
E-mail: mail@pba-net.com
ホームページ <http://www.pba-net.com>
でんわ世の光 03-3291-9061

スカンジナビア宣教師の房総伝道

日本同盟基督教団市川福音キリスト教会牧師・東京基督神学校 山口陽一

日本同盟基督教団にとって千葉は最も古い伝道地です。1891年11月23日、フレデリック・フロンソンにより設立されたスカンジナビアン・アライアンス・ミッションの、日本への最初の宣教師15人が横浜に上陸、築地の居留地から各地に伝道を開始します。

1892年10月、内房線で富津の二駅先の佐貫（当時は内房線はありませんが）に、G・F・ジョンソンとスコグルンドの2人が赴任しました。ジョンソンは20歳前の青年、スコグルンドはギターの上手な青年でした。僧侶たちの迫害にもかかわらず、150人、200人が集まります。暴漢に襲われそうになった宣教師を求道者が助ける、そんな伝道により1893年8月20日、八幡の海岸（新舞子海水浴場）で最初の洗礼式が行なわれ、田丸源次郎（25歳）ら4人が受洗、初めての聖餐式も行なわれました。田丸は染物屋の息子です。聖書の光に照らされて罪を知り、鹿野山に半月こもって聖書を読み、祈り、受洗しました。彼はやがて宣教師の通訳となり、東京や飛騨で伝道し、日本基督教会両国教会や日本福音教会小石川福音教会の牧師を務めます。

1893年3月、シカゴの神学校で学んだ26歳の伝道者リンドストロームが外房の天津で伝道を開始します。天津は日蓮ゆかりの地、僧侶に雇われた暴漢に襲われて彼は負傷しますが、ひるまず伝道が続けたものの求道者は起こりません。

1893年9月、佐貫のもう一駅先の天羽（上総湊）で24歳のアウレルが伝道を始めます。彼は助手を受けた宣教師で、後に米国聖書協会の責任者になる人です。通訳の助けを得て、1894年4月には男性6人、6月25日には女性4人が入信しました。この頃には船橋で、ついで行徳、1995年には幕張でも伝道が始まりました。

1900年12月頃、ベルグストロームと武田佐平が千葉に移転、翌年には受洗者が生まれ、1904年7月に献堂、11月には教会設立となりました。翌年、宣教師がA・ピーターソンに代わり、1906年には初代牧師杉本光平が就任、1908年に通町に移転しました。日本基督教団成立（1941年）の頃には信徒数500人となる現在の日本基督教団西千葉教会です。一方、佐貫、天津、上総湊、行徳、船橋、幕張は、宣教師の退団、帰国、飛騨・伊豆伝道への移動により中止されました。

もしかすると、当時蒔かれた福音の種が、どこかで今も眠っているかもしれません。「ライフ・ライン」で呼び起しましょう。教会やクリスチャンとの接点がなく、放送を聴き続けている人もおられるでしょう。100年前も、そして今日も、蒔かれ続ける種が芽を出し、実を結ぶことを祈りつつ、かけがえのない一人の救いを願って放送伝道が続けてまいりましょう。

お茶の間に福音！

毎週土曜朝7時は、**千葉テレビ「ライフ・ライン」**でお楽しみ下さい。

心をいやす30分